

フィッシュアイネットワークカメラ
クイックセットアップガイド

NO:101-100-0450-02
Issue:1.4

注意事項

ご使用前にこの注意書及び取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。本製品を公共の場所に設置する場合は、人目につく場所に「防犯カメラ作動中」などと表示してください。電気製品を正しく使用しないと、火災や重傷の原因となります。

	WARNING 回避しないや軽度または中程度の傷害を引き起こす可能性がある中程度の危険について警告します。
	CAUTION リスクを警告します。これらのリスクを無視すると、デバイスの損傷、データの損失、デバイスのパフォーマンスの低下、または予期しない結果が発生する可能性があります。
	NOTE 追加情報を提供します。

WARNING

- デバイスを設置する際は、設置要件を厳守してください。弊社は、ユーザーがこれらの要件に従わないことによって引き起こされたデバイスの損傷については責任を負いません。
- 本製品を設置および使用する場合は、地域の電気安全基準に厳密に準拠し、PSE規格のマークが付いた電源アダプターを使用してください。さもないと、本装置が破損する可能性があります。
- 本製品に同梱されている付属品をご使用ください。電圧が、本製品の入力電圧要件を満たしている必要があります。
- 本製品を電圧の不安定な場所に設置する場合は、電源の焼損を防ぐため、本製品を接地してサージなどの高エネルギーを放電してください。
- 本製品の使用中は、水や液体が製品内に流入しないようにして

ください。予期せず水や液体が製品内に流入した場合は、直ちに製品の電源を切り、すべてのケーブル（電源ケーブルやネットワークケーブルなど）を本製品から取り外してください。

- 本製品に強い光（電球や太陽光など）を当てないでください。イメージセンサーの寿命が短くなる恐れがあります。
- 雷や落雷が頻繁に発生する場所に本装置を設置する場合は、装置の破損を防ぐため、本装置の近くを接地して落雷などの高エネルギーを放電してください。

CAUTION

- 輸送や保管中の損傷を防ぐため、重い荷物、激しい振動、浸水を避けてください。元の梱包を開封した後、二次梱包や輸送中に生じた機器の損傷は保証の対象外となります。
- 本製品を落下や激しい衝撃から保護し、磁界の干渉から遠ざけてください。また、表面が揺れたり衝撃が加わったりする場所に本製品を設置しないでください。
- 製品の汚れは乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を布に浸し、軽く拭き取って乾燥させてください。
- 換気口を塞がないでください。本製品を設置する際は、本書に記載されている設置方法に従ってください。
- 本製品はラジエーター、電気ヒーター、その他の熱機器などの熱源から遠ざけてください。
- 湿気、ほこりの多い場所、極端に高温または低温の場所、または強い電磁放射のある場所に本製品を置かないでください。
- 屋外に設置する場合は、映像監視に影響を及ぼす回路基板の腐食を避けるため、防虫・防湿対策を行ってください。
- 装置を長時間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
- 開梱する前に、取扱注意ステッカーが破損していないか確認してください。取扱注意ステッカーが破損している場合は、カスタマーサービスまたは営業担当者にご連絡ください。取扱注意ステッカーが人為的に破損した場合、弊社はその責任を負いません。

特記事項

- 弊社が販売する完成品はすべて、銘板、クイックセットアップガイド、付属品とともに厳重な検査を経て出荷されます。
- 弊社は偽造品については責任を負いません。
- 弊社は、製品の機能拡張や変更に応じてこのマニュアルを更新し、このマニュアルに記載されているソフトウェアおよびハードウェアを定期的に更新します。このマニュアルの新しいバージョンには、予告なく更新情報が追加されます。
- このマニュアルには、誤植、十分に正確ではない技術情報、または実際の製品と若干矛盾する製品の機能や操作の説明が含まれている場合があります。
- 本マニュアルはあくまでも参考であり、実際の製品との完全な整合性を保証するものではありません。整合性については、実際の製品を参照してください。

NOTE

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

1 開封検査

パッケージを開封して、製品の外観に明らかな損傷がないか確認し、表1-1の品目リストと一致していることを確認してください。

表1-1 品目リスト

部品	数量	備考
フィッシュアイネットワークカメラ	1	
クイックセットアップガイド	1	
設置位置ステッカー	1	
マイナスドライバー	1	
プラスチック製アンカー φ5.6×29mm	3	
ステンレス製セルフタッピングネジ (黒) KA4.0×30mm	3	
ネットワークアクセスポート保護カバー	1	
防水ラバーシール	1	
端子台	2	

2 デバイス構造

2.1 デバイスポート

NOTE

製品によって、ポート、マルチヘッドケーブルが異なる場合があります。実際の製品をご参照ください。

図2-1 ハードウェアのポート

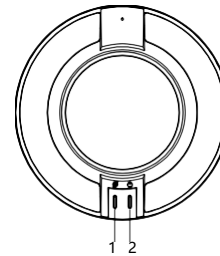


表2-1 ハードウェアのポートの詳細

ID	ポート	詳細
1	NIC表示灯	ネットワークがアクティブになると、表示灯が点滅します。
2	電源表示灯	電源に接続すると表示灯が点灯します。

図2-2 マルチヘッドケーブル

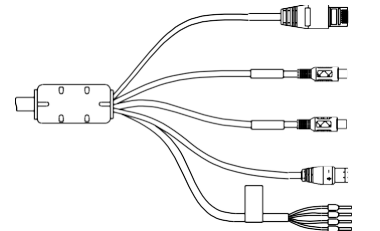


表2-2 マルチヘッドケーブルの詳細

ID	ポート	詳細	備考
1	ネットワークアクセスポート	標準のイーサネットケーブルに接続します。	
2	音声入力ポート	集音機器などのデバイスからアナログ音声信号を受信します。	オーディオ機能付きカメラに適用されます。
3	音声出力ポート	スピーカーなどの外部オーディオ機器に接続します。	
4	電源アダプター (DC 12V)	12V(-15%+10%)の直流電源に接続します。	
5	灰色	アラーム出力端子A(NO)	アラーム機能付きカメラに適用されます。
	紫色	アラーム出力端子B(NO)	
	黄色	アラーム入力プラス端子	
	橙色	アラーム入力アース端子	

図2-3 マルチヘッドケーブル2

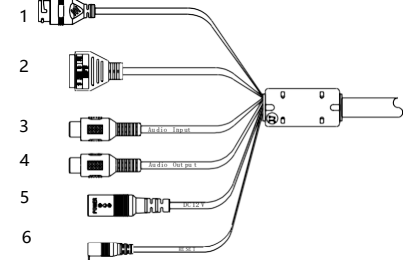


表2-2 マルチヘッドケーブル2の詳細

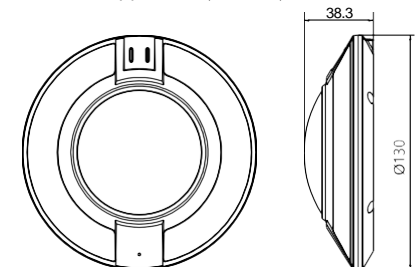
ID	ポート	詳細	備考
1	ネットワークインターフェース	標準のイーサネットケーブルに接続します。	
2	IN	アラーム入力	アラーム機能付きカメラに適用されます。
	G	アラーム入力com	
	OUT	アラーム出力	
	G	アラーム出力com	
3	音声入力ポート	集音機器などのデバイスからアナログ音声信号を受信します。	オーディオ機能付きカメラに適用されます。
4	音声出力ポート	スピーカーなどの外部オーディオ機器に接続します。	
5	電源アダプター	12V(-15%+10%)の直流電源に接続します。	
6	リセットボタン	リセットボタンを5秒間長押しすると、元の設定に戻ります。	

2.2 カメラの寸法

NOTE

製品によって、寸法が異なる場合があります。実際の製品をご参照ください。

図2-3 寸法 (単位: mm)



3 デバイスの取付方法

ドームカメラは、天井、または壁に取り付けることができます。ここでは、カメラを天井に取り付ける方法について説明します。

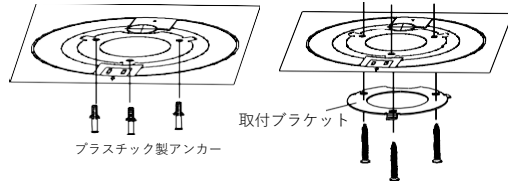
3.1 設置手順

Step 1 設置面に設置位置ステッカーを貼り、ステッカーのマークを参考に4か所の穴を開けます。図3-1に示すように、プラスチック製アンカーを穴に打ち込みます。

Step 2 カメラを取り出し、取り付けブラケットを取り外します。図3-2に示すように、長さ30mmのネジを使用して取り付けブラケットを固定します。

図3-1 ブラケットの固定

図3-2 装飾の取り外し

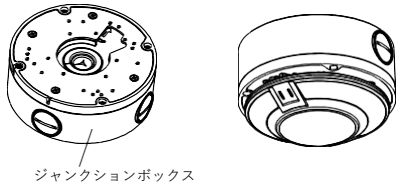


Step 3 マルチコネクタケーブルを接続します。

NOTE

ケーブルを上から配線する場合は、位置ステッカーの「B」の位置に基づいて表面に穴を開けます。ケーブルを側面から配線する場合は、図3-3に示すように、円形のジャンクションボックスを使用して、マルチヘッドケーブルをジャンクションボックスの側面から配線します。

図3-3 ジャンクションボックス

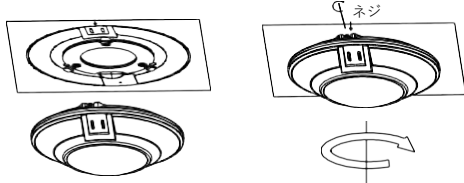


Step 4 図3-4に示すように、ステッカー上のカメラの外形を元に、カメラのシャシギャップを設置ブラケットのバックルに合わせます。

Step 5 図3-5に示すように、カメラを押し込んで回転できなくなるまで回転させ、カメラの側面にあるネジを締めます。

図3-4 カメラの取り付け

図3-5 カメラの固定



Step 6 カメラの周辺シールを剥がします。

4 クイック設定(例: IE)

4.1 ログイン

Step 1 インターネットエクスプローラーを開き、アドレス欄にIPカメラのIPアドレス(初期値: 192.168.1.110)を入力し、Enterキーを押します。図4-1のようなログイン画面が表示されます。Step 2 マルチコネクタケーブルを接続します。

NOTE

- デフォルトのユーザー名とパスワードは両方ともadminです。システムのセキュリティを確保するため、ユーザーが初めてシステムにログインするときにパスワードを変更してください。
- パスワードを変更した後、3分後にデバイスを再起動することを推奨いたします。
- ログインページでシステムを表示言語を変更できます。
- Google Chrome、Firefox、Edge、その他の主要なブラウザをサポートしており、ライブ映像の再生、パラメータの設定をすることができます。

図4-1 ログイン



Step3 ログインをクリックすると、メインページが表示されます。

4.2 IPアドレスの変更

設定 > デバイス > ローカルネットワークを選択すると、ローカルネットワークページが表示されます。図4-2に示すように、IPアドレスのボックスにIPアドレスを入力し、「適用」をクリックします。IPアドレスが正常に設定されたら、新しいIPアドレスを使用してWebインターフェイスにログインしてください。

図4-2 ローカルネットワーク



4.3 映像の検索


H.264の場合は、直接再生できます。H.265の映像をスムーズに再生したい場合は、事前にIPCローカルサーバーをダウンロードする必要があります。アイコンをクリックしてダウンロードし、手順に従ってインストールすると、H.265の映像を再生できます。「プラグインなしプレイに切り替える」をクリックしてモードを切り替えます。

図4-3 IPCローカルサーバーのダウンロード

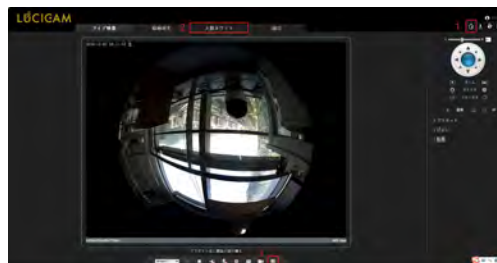
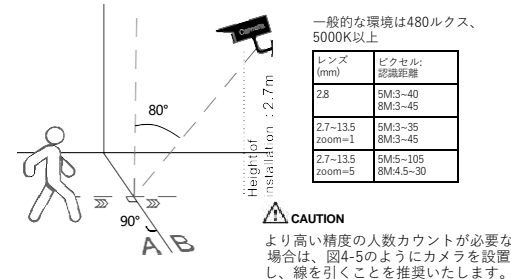


図4-4 プラグインプレイなしに切り替え



1. IPCローカルサーバーのダウンロード: アイコンをクリックしてソフトウェアをダウンロードし、ヒントに従ってインストールします。プラグインを使用してライブ映像を再生するには、Webを更新します。H.265方式の映像をご覧いただけます。
2. 人数カウント: ユーザーは、年、月、日単位で人数のデータを検索できます。統計はダウンロードできます。データは折れ線グラフ、ヒストグラム、リストで表示できます。
3. AIライブ映像: アイコンをクリックすると、人間の顔またはナンバープレートのスナップショットが表示されます。("Face"または"Plate"をクリックして切り替えます。)下のページには人間と車両のキャプチャ画像が表示されます。
4. プラグインなし再生に切り替える: IPCローカルサーバーをインストールすると、ユーザーはライブ映像を再生するためにプラグインまたはプラグインなしを選択できます。
*PTZ インターフェイスは一部のモデルのみにあり、すべてのモデルに対応しているわけではありません。上記の数値は一例であり、実際の製品をご参照ください。

図4-5 人数カウントカメラの設定



NOTE

キャプチャのパフォーマンスを向上させるには、焦点距離が66mm以上のレンズを使用することを推奨いたします。

4.4 フィッシュアイの設定

「設定 > デバイス > フィッシュアイ」を選択すると、フィッシュアイ設定ページが表示され、図4-6に示すように「Mount type」と「Fisheye type」のパラメータを設定します。

図4-6 フィッシュアイ



フィッシュアイは3つのマウントタイプ(壁掛け、天井、テーブル)をサポートしています。フィッシュアイタイプには次のものが含まれます。

- フィッシュアイ: オリジナルの 36 0°、サラウンド画像
- ダブルパノラマ: ダブル180° パノラマ画像
- 4PTZ: 4つの画像のデワーブ
- シングルパノラマ: シングル180° パノラマ画像
- Fisheye+3PTZ: 36 0° サラウンド+3つの画像のデワーブ

4.5 インテリジェント分析

[設定 > インテリジェンス分析]インターフェイスで、ユーザーは、侵入検知、リンクロス、二重リンクロス、複数徘徊検知、逆走検知、人数カウント、スマートモーション、およびヒートマップのパラメータを設定できます。図4-7をご参照ください。

図4-7 インテリジェント分析



ヒートマップは、データ分析、統計、直感的な表示を行う機能であり、顧客の地域、ターゲット、地理的位置を強調した形式で表示します。

ヒートマップを有効にすると、監視エリア内の人の流れを自動的に検出してカウントし、さまざまな色で人の流れを表示します。

プラグインなしモードでは、関連するヒートマップ画像をインターフェイスに表示できます。リアルタイム映像インターフェイスで再生するには、プラグインなしモードに切り替えてください。

ヒートマップの設定:

[設定 > インテリジェント分析 > ヒートマップ]インターフェイスから設定をします。

有効: クリックして機能を有効にします。この機能はデフォルトでは無効になっているため、手動で有効にする必要があります。
統計タイプ: 統計タイプ、時間(1日あたり24個のデータがあります)または日(1日あたり1個のデータがあります)。タイプを切り替えると元のデータはクリアされますので、慎重に操作してください。「適用」をクリックして設定を保存します。

データ形式: データまたは画像を選択できます。データは数値形式で表示され、ダウンロードできます。ダウンロードした画像の異なる領域に異なる色で画像が表示されます。

期間: 年/月/日/時間を選択できます。
時間: ヒートマップデータを検索またはダウンロードする時間を選択します。時間形式: データをダウンロードする際の時間フォーマット(秒/分/時)を設定します。

ヒートマップカラー: 異なる度合いを異なる色で区別します。最大値は、現在の設定時刻におけるヒートマップ内の単一エリアの最大データです。関連するパラメータを設定した後、「検索」をクリックして直接表示するか、「ダウンロード」をクリックしてデータをCVS形式(タイプはデータを選択)または画像形式(タイプは画像を選択)でローカルフォルダにダウンロードできます。

ヒートマップ出力:

[設定 > インテリジェント分析 > ヒートマップ出力]インターフェイスで、グラフの種類(折れ線グラフまたはヒストグラム)、時間形式(秒、分、または時間)、統計タイプ(時間、日、月、年)、開始時刻、および終了時刻(統計手法に従って詳細な時刻を設定)、関連するヒートマップ統計を「検索」または「エクスポート」します。